

新Kan第5号

2007年1月31日

今年初の新Kanだよ。

みんながんばったぞ！

奥むさし駅伝。



1月28日の奥むさし駅伝に生徒チーム・教員チームが参加しました。中学からは、教員の河口さん・後藤さん・近藤さん・内沼さんが参加しました。

残念ながら第3中継所で繰り上げスタートになってしまいましたが、無事走り終えることができました。

爽快 壮快 (フォト&報告 中1)

楽しかった 2組交流

1月24日に2組交流(中1~高3)が行われた。場所は、グラウンドと夢工房。
まず、赤、黄色、緑、ピンク、オレンジ、青の色にチーム分けした。

最初に、ドロけいをした。よくわからないままあつという間に終わった。(笑)その後、2組の連中でゾロゾロと行列しながら夢工房へ向かった。ひとつのテーブルに10人ずつくらい集まって、作業をした。「巨大オムライス」を作った。悪戦苦闘しているところもあったし、スイスイ進んで、らくらく終わった所もあった。自分の所は、結構大変だった(笑)みんな出来上がる前に食べ始めるし、ホットケーキを作り始める人もいた。



でも、みんながそれぞれ楽しんでいい思い出が作れたと思う。みんなでひとつの事をするのは大変だけど完成した時はすごい気持ちがいいし楽しい◎` また機会があればやってみたい。

中2



← 文房具の寄付を! →

1/17に進路部の講演会でみんなに話をしてくれた卒業生(1期生)の安藤 将さんが仲間とブラジルのカノア(東北部海辺の漁村)に学校をつくっています。鉛筆・絵の具・クレヨン・笛・定規など、使用しなくなったものでけっこうです。ご寄付をお願いします。寄付箱は図書館前廊下にあります。

中学生のみんなも来て！

本日；映画「六ヶ所村ラブソディー」上映



★ 上映責任者の永山泰久さん
(寮監、卒業生)に
3つのインタビュー

；中2

1. 「映画のエッセンス」は？

— 実際にあることが描かれている。見た人が共有できる映画。

映画の舞台は「青森県六ヶ所村」。今まさに、豊かな自然の中で巻き起こっている「核燃料再処理工場」問題。問題と向き合い生きる人々のドキュメント。

2. 「なぜ自森で上映するのか？」

— 生徒には外の人に目を向けてほしい。外の人には、今時の子ども、生徒に目を向けてほしい。そうやって目を向け合って世界を広

くして行ってほしい。自森で上映するのはお互い目を向け合って、自分の世界を広げてほしいから。

3. とくに、「中学生への呼びかけ」は？

— 親の世代の頼れるところ、あるいは頼れないところを、ちゃんと見てほしい、ちゃんと聞いてほしい。そして、お互い支えあってほしい。 左ハシが永山さん→



漫画の神様、手塚治虫『火の鳥』



「手塚治虫は天才だ」

巨匠は数多くの人間達からこう讃えられる。一彼は天才でなかったら何者だろう？一手塚治虫の漫画を読んでいると、必然的にこの概念が私の頭をよぎる。

それは、たとえどんなに小さい作品でも、彼の漫画は素晴らしいまでの人間への愛と、言葉や文書では表せないほどの感動を読む者に与えるからだ、私は考えている。

“火の鳥”は全宇宙史を舞台とした超大型の物語である。宇宙、未来、鳳凰編など12編に分かれており、各編のそれぞれを、比較的独立した物語として読むことができる。すなわち、それぞれの編の中で、焦点となった人物、民族、社会の繁栄と滅亡が描かれるのである。

輪廻転生、時間、そして生命……。壮大なモチーフが反復する、魂の作品。

中2



岡本厚さんと語ろう

岡本厚さん。 2月1日(木)16:00~大音ホール

雑誌「世界」の編集長。自森の一部教員とつながりがある人。とてもコミカル？
な口調で難しい話題を話してくれます。そんな方が、

2月1日木曜日16:00~大音ホールでお話をしてくれます。

「改定教育基本法、どうなっているの？」というのが主題で、憲法とのつながりなどを語り、そしてみんなと語り合いたいと思ってます。みんな来てね。

高3

発行：自由の森学園図書館(大江) 編集：中学1・2年生図書委員会
(中1=●●●●、●●●●、●●●●、中2=●●●●、●●●●●●
●●●●、●●●●、●●●●●●、●●●●●●、●●●●、●●●●)
連絡先：Tel042-972-3021 E-mail：jib0@jyunomori.ac.jp